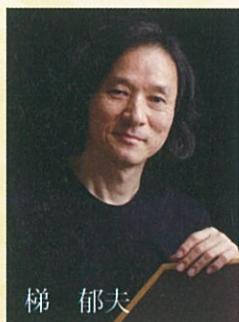


艶やかな蒔絵の世界と 富田勲「源氏物語」音宇宙

と
き
千年の時空を超えて
蒔絵・スーパーオルガン・aFrameで奏でる
『源氏物語幻想交響絵巻』

2019.
6.29 (土) 30 (日)
開場 14:30 開演 15:00
入場料 2,000円 (税込)



梯 郁夫



橋 ゆり

第一部
オルガンコンサート
「源氏物語幻想交響絵巻」
作曲 富田勲



箱瀬 淳一

第一部
蒔絵制作過程などの
映像と講演
「蒔絵師箱瀬淳一の世界」



会場

Angels Garden

〒169-0051 東京都新宿区西早稻田3-14-3

- ・東京メトロ 副都心線 西早稻田駅 1番出口 徒歩6分
- ・東京メトロ東西線 早稻田駅 3a出口 徒歩10分
高田馬場駅 6番出口 徒歩9分
- ・JR高田馬場駅 徒歩12分・都電荒川線 面影橋駅 徒歩5分

チケットお申込み・お問い合わせ

info@kakehashi-foundation.jp



箱瀬 淳一

蒔絵師

世界の有名ブランドが認めた蒔絵の世界

受賞歴

- 1955年 輪島市生まれ
- 1975年 蒔絵師田中勝氏に師事
- 1980年 日本新工芸展初入選他入選4回
- 1989年 日展入選
- 1992年 輪島市美術展最高賞
- 1993年 日本新工芸展新工芸賞
- 1994年 彫刻の森美術館 あすをひらく新工芸展大賞

海外

- 2002年 スイス「ギャラリーザッペーニ」チューリッヒ「ノイエングェバンデール」
- 2004年 イタリアアートフェスタ招待出品ヴァンクリーフ&アーペルコラボレーション展(モナコ、パリ、香港、クアラルンプール)
- 2012年 ヴァンクリーフ&アーペル パピヨン発表(ハワイ・オアフ)
- 2014年 シャネル 蒔絵時計盤製作
- 2018年 ヴァレンティノ銀座コラボレーション

国内

- 1994年 日本橋高島屋
- 1999年 銀座ギャラリーおかりや



- 2000年 ギャラリー石塚小路和田
- 2005年 銀座和光ホール100 椀100 膳展 新宿伊勢丹「日常の漆器展」
- 2006年 玉川高島屋アートサロン 鎌倉ギャラリーミネ
- 2008年 横浜三溪園 夏じたく展 丸栄65周年記念展
- 2009年 六本木ヒルズ ヴァンクリーフ&アーペル パピヨン蒔絵発表
- 2011年 広島調度品の亀川(各年) 青山カリス 島根おかりやギャラリー
- 2015年 銀座和光ホール〜蒔絵今昔〜
- 2016年 遠鉄百貨店 ヴァンクリーフ&アーペル レコール開催 広島福屋
- 2017年 名古屋JR高島屋 小さな宝物展



橘 ゆり

作・編曲 / オルガニスト

最新のデジタル技術を結集した電子オルガンの最高峰

ミュージック アトリエ AT-900

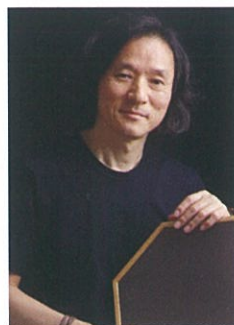
群馬県前橋市出身。3歳よりクラシックピアノを始める。電子オルガンコンクールでの全国優勝後、TV番組「11PM」にて4年間 Hammond オルガン演奏。コロムビアレコードからアルバム「トロピカル・サイクロン」「マジカル・アイズ」、キングレコードからアルバム「Organ Chat」「Organ Chat 2」「Organ Chat 3」「Organ Chat 4」をレコーディング、リリース。また、幅広いジャンルでの執筆や作編曲、「Popular&Jazz 理論書」、オルガンアレンジ曲集出版多数。

2009年日中韓3ヶ国「第4回日中韓観光大臣会合」にてオルガンコンサート。2011年には富田勲氏作曲による「源氏物語幻想交響絵巻」全曲の編曲と演奏を手がける。

2013年「飛鳥IIオセアニアグランドクルーズ」にて初めての船上オルガンコンサート。現在「Organ Chat Concert」を全国各地で開催している。演奏活動は国内にとどまらず、アメリカ、ヨーロッパ各国、中国、東南アジア、ブラジルにもおよび、国際的な活動をするかたわら、レコード各社にてレコーディングアレンジャーとしても活動している。



ROLAND ORGAN
MUSIC
ATELIER



梯 郁夫

作曲 / パーカッション

不可能を可能にする

エレクトロオーガニックパーカッション aFrame

東京音楽大学打楽器科卒業。在学中より演奏、作曲活動を開始、同大パーカッショングループ演奏会にて作品を発表。1985年打楽器新人演奏会出演(自作自演)民族音楽から現代音楽、ポップミュージックまでジャンルを越えたパーカッショニストとして、数々のコンサート、スタジオワークに参加。ロック、ジャズ、ポップス、クラシック、邦楽等、あらゆる分野のアーティスト、舞台、映画音楽からTV、CM音楽などに関わって来た。特にレコーディングに於ける斬新かつ的確なアプローチには、多くの作編曲家が厚い信頼を置いている。そして自身の活動の場として、1992年に青山円形劇場にてスタートした「PERCUSSIVE MOVEMENT」は自ら企画構成、作曲、演奏するコンサートとして、打楽器アンサンブルの新しいスタイルを提示。

CD: ソロアルバム「Percussive Graphics」(Eye's Project Label / Kim Co.Ltd)「Art of Percussion」(Atelier Vision BGM Artist Series)
打楽器アンサンブル曲「Drum Tints」「Percussive Conference No.1」「Drum Next Door」等多数



ATV
electroorganic
aFrame